

県連だより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

創立70周年記念式典

No. 115
March 2026

大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35
TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

おおいたの生協



大分県生協連連合会主催 第36回スポーツ交流会(ボウリング大会)を開催

会員生協間の交流を深めることを目的にスポーツ交流会を毎年開催していますが、2017年度よりそれまでのミニバレーボール大会から、誰でも参加できる競技としてボウリング大会に変更しました。

参加者や会員生協から好評であり、2025年度も第36回スポーツ交流会はボウリング大会を継続することとし、2025年10月18日(土)に大分市明野OBSボウルで開催、今年は初めて加盟する全12会員生協から64名が参加しました。

受付で全員に飲物と参加賞を配布し、河原県連専務理事の開会あいさつ、始球式の後、競技を開始しました。ただし、今年から前年度優勝した方は参加をご遠慮しました。

競技は一人2ゲーム合計点の個人戦で行い、今年も10位までを入賞とし、優勝は日田市民生協の井下恵さんが初優勝、2位は高校生協の長井剛さん、3位はコープおおいたの阿部利行さん、4位は日田市民生協の山口ほのかさん、5位は県医療生協の吉光友一郎さん、6位は日田市民生協の小塩アツ子さん、7位はコープおおいたの弘中秀司さん、8位は高校生協の上野英俊さん、9位は日田市民生協の財津三女子さん、10位は学校生協の工藤安司さん、15位以下は5飛び賞とブービー賞、36位を特別賞とし、25人が入賞しました。

表彰式には参加者全員が残り、司会の萩原組織委員(県連監事)より入賞者が発表されおのたびに歓声上がり、今年も、最後に河原専務とのジャンケン大会を実施し、会場は大いに盛り上がりました。

参加者からは「楽しく交流させてもらいました、来年も是非開催してほしい」との声をいただきました。



ボウリング大会1位



ボウリング大会2位



ボウリング大会3位



じゃんけん大会優勝

大分県生協連合会創立70周年記念式典を開催

- ① 大分県生協連合会は1955年11月に、津久見生協・臼杵生協・杵築生協で創立、その後、津久見生協と杵築生協は解散し、臼杵生協は大分県民を対象に県民生協を経て生協コープおおいたへ名称変更、1966年に県高校生協・県学校生協、1969年に大分大学生協、1981年に日田市民生協・県医療生協、1982年に県勤労者医療生協、1987年に県職員消費生協、1991年に自治労大分信販生協・県労働者総合生協、1994年に、グリーンコープ生協、2003年に県福祉生協が加入し、2025年3月末現在、12生協（地域生協3、職域生協6、医療福祉生協3）、組合員数48万673人、総事業高約320億8,500万円の組織となりました。
- ② 2025年は県生協連創立70周年であり、2025年11月12日(水)、大分市ホテル日航オアシスタワーで創立70周年記念式典を開催しました。
式典は、生協コープおおいたの刈鎌あおいさんの司会で15時よりオープニングアトラクションとして、ドローンスクール事業を展開しているヒューマック大分よりドローン20台によるショーを開催し、出席者から大きな歓声が上がりました。
- ③ 主催者である大分県生協連合会の青木博範会長理事より70年間にわたる会員生協・組合員・関係諸団体への感謝と今後の活動への決意が述べられました。

来賓として、大分県知事代理である生活環境部の首藤圭部長より県民生活の向上のために多大な協力いただいている大分県生協連合会の皆様への感謝が述べられ、続いて、日本生協連合会の新井ちとせ会長より、70年間の活動への敬意と今後の活躍を期待するお祝いのビデオメッセージをいただきました。

次に、大分県生協連合会の70年間の歩みについて、河原伸明専務理事より紹介の後、県議会と県生協連合会の架け橋を担っていただいている玉田輝義県議会議員よりご挨拶と乾杯のご発生をいただき、食事と歓談へととなりました。

最後に、日本生協連合会九州地連の森谷靖事務局長よりご挨拶と万歳三唱で閉会しました。



2025年度県生協連と県行政との懇談会

県生協連と県行政との懇談会が、2026年1月23日(金)大分市のアートホテル大分で開催され、県消費生活・男女共同参画プラザの木内直道所長、小春誓子消費生活班総括主幹、手島栄司主査の3名が出席し、県生協連は青木博範会長理事をはじめ15名の理事・監事・職員が参加しました。

この懇談会は、県生協連が県へ次年度の予算要望書を提出し、県の回答書を受けた後、生協と行政の相互理解と連携を強めるための意見交換の場として毎年開催しています。

今年も懇談会終了後に懇親会を開催し、首藤圭県生活環境部長も参加され、有意義な交流ができました。



【令和8年度県予算要望事項と回答の概要】

1. 新型コロナウイルス感染症対策

こまめな手洗いや手指の消毒、マスクの着用を含む咳エチケット等の基本的な対策が重要であり、今後も県ホームページ等を通じて県民に呼び掛けていきます。

2. 消費者行政の充実・強化

- ①消費者行政予算の確保に向け、引き続き全国知事会を通じて政府に要望していく。
- ②第5次大分県消費者基本計画を策定中であり、引き続き県生協連等と連携し実施する。
- ③消費生活相談員の確保と資質の向上のため、養成講座や研修事業の実施、処遇改善に向けて会計年度任用職員制度の趣旨を踏まえ市町村へ働きかけていく。
- ④ライフステージに応じた消費者教育の推進は、県生協連や県消団連と連携し実施する。
又、学齢期向け消費者出前講座を検討している。
- ⑤プラスチック資源循環促進法に基づき具体的に取り組むとともに、引き続き不法投棄の防止に取り組む。
- ⑥大分県消費者問題ネットワークへは法令周知の普及・啓発、研修事業の委託等を継続し、連携して取り組む。
- ⑦SNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止に向け、県警・市町村・関係団体と連携し、広報・啓発、注意喚起に努める。

3. 食の安全・安心、食品ロス削減の推進

- ①第5次県食品安全行動計画に基づき、引き続き食の安全確保等を推進している。
- ②学校での食の安全や食育、エシカル消費を引き続き推進していく。

- ④食品ロス削減推進に向け、「手前どり」「食べきり」等の効果的な啓発に取り組む。
- ⑤県内食料自給率向上に向け、地産地消等に取り組む。
- ⑥種子法に代わる県の要綱等を整備し体制を維持する。

4. 生活協同組合の育成・強化

消費者行政として生協を消費者団体の中核と位置付け、消費者教育推進、消費者被害防止の具体的取り組みを連携しており、今後も連携を深めていきたい。

5. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び今後の災害対策

- ①県防災会議や災害対策ネットワーク会議等での取り組み、県民安全安心メールや防災アプリ等の活用を推進する。また、学校現場での防災教育の充実に向け取り組んでいる。
- ②災害時のドローンの活用は、被害状況の確認や孤立集落への物資輸送に必要であり、迅速な活用に向け、様々な課題の解消に向け関係団体と研究しながら活用に取り組む。

6. 諸物価・エネルギー価格高騰対策、生活困窮世帯・子育て支援

- ①全国知事会を通じて政府に全国一律の対策を要請している。
- ②生活困窮者への支援は政府に要望、県の支援計画や市町村との連携で推進する。
- ③子ども食堂・無料塾への支援は全国知事会を通じて政府に要望、県独自で新規開設の団体等へ市町村と連携して助成している。
- ④給付型奨学金や就学・学習制度の拡充を全国知事会を通じて政府へ要請する。
- ⑤市町村が支援する民間路線バスの運行費に助成中、持続可能な公共交通の再構築に向け、市町村や事業者に対する支援策を検討している。
- ⑥ヤングケアラーへの支援は、県に指導で全市町村で相談窓口が設置され、各種サービスの利用につなげている。

7. 医療・保険・福祉

- ①診療報酬改定や介護報酬の改定等に向け、
- ②医療や介護の人員確保、処遇改善等に向け、全国知事会を通じて政府に要望する。



生活協同組合コープおおいた①

親子 de クリスマスパティー

日時：2025年12月14日（日）
参加人数：148名

今年で11回目となる「親子 de クリスマスパティー」を開催いたしました。定員150名のところ、約200名の皆さまよりご応募をいただきました。コープおおいた読み聞かせグループ「オーマッシュ♡」が進行し、ザ・キャビンカンパニー作「ひげらっぱ」の読み聞かせからスタートしました。工作、ダンスも楽しみ、最後にはサンタさんが登場し、会場は大きな歓声に包まれました。参加した子どもたちはサンタさんからプレゼントを受け取り、とても嬉しそうな様子で、一足早いクリスマスを楽しんでいただけたようです。お子さんはもちろん、大人も楽しめる時間となりました。



TOS はじめてばこフェス

2025年11月22日（土）

TOS主催の「はじめてばこフェス」に特別協賛として出展しました。

「ハイハイレース」は抽選の結果、108名のお子さんに参加いただきました。TOSアナウンサーによる迫力のある実況をしていただきました。いつもと違う環境に泣き出してしまうお子さんや、のんびりマイペースなお子さんなど、さまざまな表情を見せてくれました。保護者の方はおうちからお子さんのお気に入りのグッズを手に、白熱した応援をされていました。見事1等賞を取られたお子さんにはメダルとコープのあったか食材セットを贈呈し、参加者全員に賞状をお渡ししました。



生活協同組合コープおおいた②

産直交流会

日時：2025年11月22日（土）
参加人数：24名

産直商品やコープ商品の魅力をより一層知っていただくため、産直交流会を開催しました。九州乳業(株)、JA全農たまご(株)・JAうすきたまごファーム(株)臼杵農場、林兼産業(株)、フドーキン醤油(株)、(株)ハートコープおおいたの6つの生産者・メーカーの皆様にご参加いただきました。

生産工程の紹介やこだわりのお話、映像を交えた説明など、試食をしながら、直接交流ができる貴重な時間となり、参加者からは、「生産の大変さがよく分かり、これからの買い物に活かしたい」「実際に生産者のお話を聞くと、その商品をもっと応援したくなる。とても良い機会でした」といった嬉しい感想を多数いただきました。今後も、組合員と生産者・メーカーのみなさんが、お互いの顔が見える持続的な関係を築いていきます。



子育て講演会

～ママのための食育講座子どもの栄養と手間抜きのコツ～

日時：2025年11月28日（金）
参加人数：11名

今年で第11回目となる「子育て講演会」を、体験型プログラムとして開催しました。子どもの栄養に関するお話に加え、簡単&時短で作れる「鯖缶の炊き込みご飯」と「さつまいもとコーンの秋色サラダ」の調理実習を行っていただきました。

講演・調理の最中には多くの質問が寄せられ、「ほかの缶詰を使ったレシピも知りたい」「子どもが“緑”というだけで野菜を食べてくれない」といった声にも、子どもの目線に寄り添った献立や工夫を交えながら丁寧に答えいただきました。また試食の時間には、参加者同士の会話も自然と生まれ、和やかな雰囲気を楽しんでいる様子でした。



グリーンコープ生活協同組合おおいた

共生・平和長崎自転車隊応援に行ってきました

8月9日(土)福岡県柳川市から長崎市まで「平和」を願い「不戦」を訴えるために子どもたちが自転車を走らせました。今年はおおいたから4人の中学生が参加しました。爆心地公園での平和のつどいでは、銀輪隊代表としておおいたの古賀月悠さんが「世界で唯一核兵器が実戦使用された国だからこそ不戦を訴えたい。世界中の人の平和を願い、お互いを尊重し認め合う思いやりの心を持ちたい。平和の意味とみなさんの思いを後世につなげていきたい」と平和への思いを力強くスピーチしました。



11時02分、遠くに聞こえる鐘の音、80年前と変わらぬ蝉の声だけが響く公園で慰霊と平和を願い、黙祷を捧げました。ここに集まった多くの人が平和への思いを一つにした本当に静かな時間でした。

2025シャボン玉フォーラムinおおいたを開催しました

10月17日(金)、18日(土)に J:COM ホルトホール大分大ホールにて「2025シャボン玉フォーラム in おおいた かたらんかい?せっけん Life! ~未来へつなぐ環境のバトン~」を開催しました。シャボン玉フォーラムは「せっけん運動ネットワーク」が主催し毎年各地で開催され、せっけん利用を推進し、環境運動をしている全国の生協、農協、漁協、その他の団体や地域の人が集うフォーラムです。今年も、グリーンコープ生協おおいたが受入団体として企画、運営しました。全体会ではプロダイバーの武本匡弘さんを講師に「海から見る地球~気候変動と海洋プラスチック問題~」を講演いただきました。



武本さんはヨットで世界を回る中で、どの国の海でも必ず見かけるのがペットボトルだと言っていました。プランクトンを探るための網にも必ず小さなプラスチックが混ざる。顕微鏡で見ると、プランクトンの間にプラスチック繊維が漂っていて、「プラスチックスープの海になっている」という言葉に、ぞっとしました。「ベストを目指したベターな選択を」完璧じゃなくてもいい。少しでも環境にやさしい選択をする、その積み重ねが大きな変化につながる。たとえばマイボトルを使う、使い捨てを減らす、個包装されていないものを買う。そして、個人の努力だけでなく、メーカーが本気で取り組むことが、プラスチック削減の大きな鍵になるとも話されました。

印象的だったのは「大人は“当たり前”に気づきにくい」という言葉。だからこそ、主権者教育が大切だという。気づいたら声をあげる、小さな行動を起こす。それが社会を変える力になる。武本さんが語った「人間は間違いに気づいたら、やめることができる」「知ることは希望」という言葉が心に残りました。過去を悔やむのではなく、これからどう行動するか。地球の未来は“誰か”が守ってくれるものではない。私たち一人ひとりが気づき、声をあげ、動くことで変えていくものだと感じました。豊かな海を、そして安心して暮らせる環境を次の世代に残せるよう、せっけん運動や4R運動、脱原発運動、平和への取り組みを続けていきます。

全店舗に廃食用油回収BOXが設置されました

11月21日(金)、高城店・寒田店・西の台店・別府店に専用BOXが設置されました。家庭で出た廃食用油は、ペットボトル等の密閉容器に入れて各店の回収BOXに入れてください。集めた廃食用油は(株)田中鉄工で道路や歩道を舗装するためのアスファルト混合材の製造や、バイオディーゼル燃料を生産し、カーボンニュートラルの実現を目指しています。使用済みや賞味期限切れの食用油もリサイクルすれば、地域の環境や地球環境保全に役立てることができるのです。



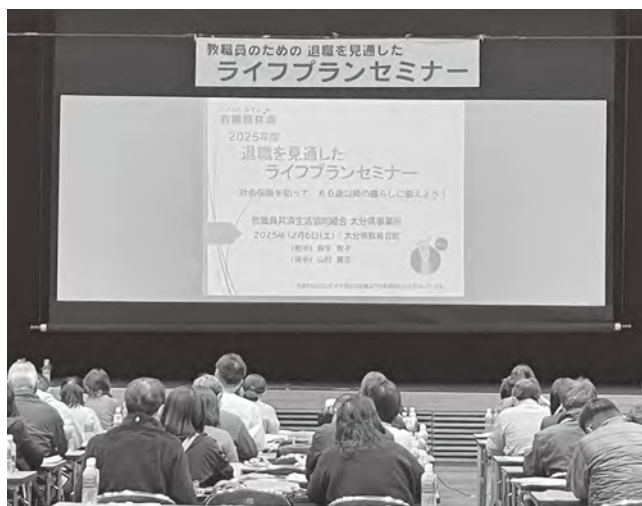
回収対象の油	大豆油、なたね油、コーン油、サラダ油、ごま油、綿実油、パーム油、米油、オリーブオイル、ココナッツオイルなどの「植物油脂」
回収できない油	灯油、ガソリン、軽油、機械油などの「鉱物系油脂」

大分県学校生活協同組合

退職を見通したライフプランセミナーを開催しました

学校生協・高校生協・教職員共済生協 共催
12月6日(土)、毎年好評の「退職を見通したライフプランセミナー」を大分県教育会館で開催しました。今年度60歳を迎える組合員をはじめ、「そろそろ退職後の暮らしを考えたい」「有意義で充実した生活を送りたい」と考える組合員の皆さんにご参加いただき、将来の生活設計について理解を深める貴重な機会となりました。

セミナーⅠでは、教職員共済生協により「社会保険を知って、60歳以降の暮らしに備えよう！」をテーマに公的年金制度や公的医療保険制度の仕組み、退職後の暮らしに必要なお金の考え方などについて分かりやすい説明がありました。続くセミナーⅡでは、九州労働金庫より「資産運用について」の講和が行われ、貯蓄と運用をバランスよく取り入れる重要性や、投資信託について紹介があり将来に向けた資産管理を考える機会となりました。最後に抽選会もあり盛会のうちに終了しました。



第4回商品委員会を開催しました

1月6日(火)、第4回商品委員会を学校生協会館で開催しました。各支部の商品委員が集まり、「春の強化月間」で展開する商品の検討・意見交換を行いました。今回の委員会では、クリーブオイル、甘酒、E=COREのクッションなどの地産地消商品も紹介しました。その中でも「甘味茶屋のだんご汁」は初めて知る委員も多く、大変好評でした。また、無添加カレーをはじめ、安心・安全な商品の試食も行い、実際に味や品質を確かめながら生協商品への理解を深めました。



大分大学生生活協同組合

2026年入学の新入生に向けての活動を
学生と一緒に頑張っています！

2025年11月19日の学校推薦型選抜試験の際の「受験時説明会」の様子です。事前に70席ほど用意をしていた席が満席となり、急遽席を追加し100名以上の保護者の方中心に参加をいただきました。大学生活のこと、合格発表後の流れ等メモを取りながらお聞きいただいている保護者の方もいらっしゃいます。



12月6日、7日に実施をされた、「入学準備説明会」の様子です。合格発表後、今度は学生の方と保護者の方が一緒になって、説明を聞いていただいています。全体説明の後は、「個別相談」を実施し、入学する学部の先輩と直接相談をする事で、入学後のイメージを膨らませていただき、大学生活に向けての不安解消や入学後に期待を持っていただくような話もしています。中にはすでに卒業後の進路について相談する新入生もいるほどです。



大分県職員消費生活協同組合

家電オンラインストアの開設状況

(10月～)

全国府県庁生協連絡協議会で紹介のあった福利厚生を目的とした日立家電のアウトレット商品販売のオンラインストアに、当生協も取り組むこととしました。イントラネット環境が必要なため、労働組合の情報共有ツール「TUNAG」による取り組みを10月から実施。10～11月のアクセス数は134件あり3件の利用につながりました。

生協としては庁内イントラを活用できないためインスタグラムを活用しておりオンラインストアの開設に向けホームページ等の課題解決に取り組むこととしています。

第2回生協推進委員会を14地区で開催

(11月10日～12月4日)

労働組合の支部意見交換会を活用して、年2回生協推進委員会を開催しており、事業報告、県産品愛用運動や年末幹旋企画等の当面の事業計画を中心に第2回の生協推進委員会は11月25日から県内13地区で、本庁地区は県産品愛用運動PRのため11月10日に生協単独の推進委員会として開催しました。

経営状況は厳しさを増しており、経営健全化検討委員会などで課題共有を図りながら経費の節減等に努めていますが供給高の減少や手数料収入の減少等で厳しい状況が続いています。

自治労会館売店年末感謝フェア

(12月10日～11日)

12月10日、11日に自治労会館売店で指定店（花、酒類）とともに年末感謝フェア（ボーナスセール）に取り組みました。昨年に引き続き、国東・安岐のみかん、キウイ、梨は好評、農業大学の野菜、長野（須坂）の無袋リンゴ販売やコーヒーの出張販売もあり組合員も満足げでした。供給高は約184千円でした。

また、会館ロビーでは指定店による冬の宝飾展と銘打った展示販売や寝具の展示販売もあり昼休みを中心に来場者は品定めに余念がありませんでした。



大分の味を楽しもう！大分県産酒購入キャンペーン

(12月23日)

12月23日から県職員互助会本庁支会と共同企画で県産酒の消費促進のため互助会の購入補助キャンペーンを実施。1月13日までの期間限定、数量限定の完全予約制でしたが予約開始日に先着50名即終了と大好評でした。

実績は清酒5種類26本、安心院ワイン5種類33本でした。



大分県労働者総合生活協同組合

住宅事業について

【分譲部門】

下記の分譲地にて建築条件付宅地を販売中です。

◇大分市荏隈（分譲地1区画） ※新築参考プランをご用意しています。

◇中津市如水（分譲地9区画） ※現地にはモデルハウス・建売住宅をご用意しています。

詳細は総合生協住宅事業部までお問い合わせください。

【リフォーム部門】

戸建住宅の外壁や屋根の葺き替え、キッチンやお風呂など、様々なリフォームを扱っています。

組合員様のご希望に合ったプランのご提案をさせていただきます。

【住まいの相談窓口】

総合生協ホームページ上に「住まいの相談窓口」を開設し、住まいに関する様々な問合せ、ご相談に対応しております。お気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】大分県総合生協住宅事業部 097-574-5518

旅行センターについて

総合生協旅行センターは、組合員の皆様へ安全、安心な旅行サービスのご提供に努めております。団体旅行や組合行事などをご検討の際は、お気軽にご相談下さい。

【新規団体旅行紹介キャンペーン】

対象団体：旅行センターに新規でお申し込みの団体旅行

※過去にお取り扱いのない団体旅行となります。

対象期間：2026年6月1日～2027年3月31日までに出発の団体

対象条件：15名様以上で1泊以上の国内・海外団体旅行
（貸切バス・航空機など交通機関のついた団体旅行）

プレゼント：15名様以上のご紹介の場合

紹介者1名様、旅行幹事1名様それぞれに5,000円相当のギフト券をプレゼント

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】

・昼間（8時～18時）40分100円 昼間最大800円

・夜間（18時～8時）60分100円 夜間最大500円

【お得なプリペイドカード】

・10,000円券を8,000円で販売 ・5,000円券を4,500円で販売

*おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。
トキハやOPA・ソレイユ・大分市中心部商店街にご用の際はご利用下さい。

大分市中心市街地



大分県勤労者医療生活協同組合

2025年度の組合員活動

2025年度 大分協和病院組合員向けの様々な行事が開催されました。

9月には恒例の囲碁大会が開催されました。集中力を高め、頭脳を刺激する囲碁は参加者同士の交流を深める絶好の機会となりました。



10月はグラウンドゴルフ大会と第3回ウォーキング大会が開催されました。昨年の大会は雨天中止となりましたが、今年は前日の雨もすっかり上がり、晴天とはいかないまでも、歩き始めると体が温まり、汗をかくほどでもない

絶好のウォーキング日和となりました。出発前には看護師による準備体操の指導を行い、怪我を予防して約20名の組合員の皆さんと共に七瀬川自然公園を出発。大津神社や浅草神社、そして高瀬石仏を巡る約5キロの道のりです。道中、最大の難所となったのは浅草神社の階段でした。参加者にとっては想定外の階段で「えーっ」という声が聞こえてきましたが、怪我もなく無事に浅草神社を通過して七瀬川自然公園に向けて折り返し。疲れて言葉数も減るかと思いましたが、みなさん最後まで元気におしゃべりしながらゴールできました。



11月は大分協和病院主催の恒例行事である「第32回ミニバレーボール大会」が、大分東部公民館体育館にて開催されました。コート上で繰り広げられる熱戦を通じて、チームワークと健康増進への意識を高める、当院にとって欠かせない重要なイベントとなっています。今年度は



全9チームが参加し、まさに「どこが優勝してもおかしくない実力派ばかり」という言葉がふさわしい、白熱した試合が続出しました。一進一退の攻防は大いに会場を沸かせました。

12月は新たな組合員活動としてスクエアステップ教室を開催しました。マスクの上をリズムよくステップしながら、楽しく体を動かすスクエアステップは、高齢者の認知機能の向上や転倒予防に効果があるとされており、参加者からは「頭も体も使っているいい運動になった」といった声が聞かれました。

大分県医療生活協同組合

楽しい居場所づくりを通じて笑顔の数を増やそう ～のんびりカフェはじまる～

社会と多様なつながりのある人は認知症発症リスクが半減という研究報告があります。大分県医療生協では「気軽に参加できる居場所を増やす」ことが地域の健康づくりに繋がると考え、昨年10月に新しい憩いの場として「のんびりカフェ」を開始しました。カフェ2回目の11月には「炭坑節」を踊りました。踊り好きの組合員の「掘って～掘って～、また掘ってー♪」の振り付けの掛け声もあり、踊りが苦手な方も楽しく踊ることができたようです。のんびりカフェでは、おやつを食べたり童謡を歌ったりしながら楽しいひとときを過ごしています。参加者の要望を取り入れこれからもホッとする居場所を作っていきたいと考えています。



炭坑節を踊りました



みんなで手作りのおやつづくり

食べることは生きること ～2026年を「オーラルフレイル予防」飛躍の年に～

私たちが日常生活を送る上でエネルギーの源になるのが食事です。「食べすぎ」が、よく問題にされる一方で、高齢者にとっては「お口の機能低下」等により、食事の量が減少すると栄養の不足から体全体の虚弱（フレイル状態）を招いてしまいます。

大分県医療生協では「いつまでもおいしく食べて、元気に長生き」を目指し、「お口の機能低下（オーラルフレイル）」予防の取り組みとして、昔懐かしい「吹き戻し型医療器具“長息生活”」を使ったお口のトレーニングの普及を進めています。



吹き戻し型医療器具を使ったお口のトレーニング



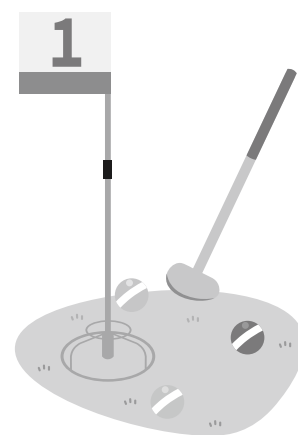
大分県福祉生活協同組合

第18回ニコニコ杯グランドゴルフ大会

令和7年12月10日(水)9時より大原グランドにて、福祉生協辛島篤吉理事長開会の挨拶を皮切りに毎年恒例のグランドゴルフ大会が開催されました。

開会式前までは霜が覆いつくすグランドでしたが、晴天に恵まれプレーできました。

今年は16団体141名の参加があり一人の体調不良者もなく、元気にプレーを行いました。



健康講話

地域の要望により、公民館等に医療・介護等の専門職員が出向き、最新の情報を提供し色々な相談に乗っています。

鍼灸マッサージの健康講話では、鍼灸など経験のない方に体験してもらい好評を得ています。



2025年度第3回理事会議事録

1. 日時 2025年11月12日(水) 13時00分～13時20分
2. 会場 大分市中央町4-2-5「ソレイユ」3階会議室
3. 出席者 理事総数13名中13名出席、監事総数2名中2名出席

議 題

4. 議 事

<審議事項>

- 1, 2025年度大分県行政との懇親会について
- 2, 2025年度大分県地域消費者フォーラムへの参加について
- 3, 2025年度大分県協同組合協議会集合研修への参加について

2025年度第4回理事会議事録

1. 日時 2026年1月23日(金) 14時30分～15時45分
2. 会場 大分市都町 アートホテル大分 2階会議室
3. 出席者 理事総数13名中11名出席、監事総数2名中1名出席

議 題

4. 議 事

<審議事項>

- 1, 県生協連2025年度決算見込みと下期会費について
- 2, 県生協連役員推薦委員会の委員の選任について
- 3, 職員賃金の自給額の引き上げについて

2025年度第5回理事会議事録

1. 日時 2026年3月4日(水) 13時～14時20分
2. 会場 大分市中央町4-2-5「ソレイユ」7階会議室
3. 出席者 理事総数13名中12名出席、監事総数2名中2名出席

議 題

4. 議 事

<審議事項>

- 1, 県生協連第73回通常総会の議案関係について
- 2, JCA(日本協同組合連携機構)第3号会員への加入について